

令和8年度

主催：「神河」食と農を考える会

後援：中播磨県民センター・神河町

「神河有機農業教室」受講生募集

平成26年度から開講している「神河有機農業教室」を、令和8年度も引き続き実施します。教室では、神河町の豊かで恵まれた地域環境を生かして、安全・良質な食べ物づくりを実践していきます。

有機農業は、難しい技術ではなく、土や作物の持っている力を引き出した農業だということに気づいていただけたと思います。皆さん、一緒に学びませんか。

講師には、神戸大学名誉教授 保田 茂 先生 と 兵庫県立大学大学院客員准教授 西村 いつき 先生 をお招きします。

《学習内容・開催日》

教室の期間は、4月から翌年1月まで、毎月1回（計10回）の開催です。

日程は、裏面のとおりです。

《会 場》

講義：神河町ケーブルテレビネットワーク会議室ほか

実習：神河町杉地内 実習圃場



実習のようす（10月さつまいもの収穫作業）

《入学金・学費》

- ①入学金 3,000円
- ②学費 12,000円
(前期 6,000円／後期 6,000円)

※事前に納付いただいた入学金、学費は返金できません。

《応募資格と定員》

- ①神河町内に住んでおられる方
- ②町外の方で、自家菜園で有機農業による野菜づくりを実践されている方及びこれから取り組んでみようと思われる方
- ③その他、神河有機農業教室が認めた方

定員40名

《申し込み・問い合わせ》

(募集期間) 令和8年1月9日～2月28日

(申込方法) 下の受講申込書に記入の上、神河町役場又は船田まで提出ください。

(問い合わせ) 679-3116 神河町寺前64 神河町役場 農林政策課(辻井)

TEL 0790-34-0960 fax 0790-34-0691

679-2433 神河町杉750 船田 穰 TEL 090-5068-0255 fax 0790-32-0469

切り取り線

令和8年度「神河有機農業教室」受講申込書

令和8年 月 日

ふりがな		性別	年齢	職業	
氏 名		男 ・ 女			
住 所	〒□□□□□□□□		携帯電話		
受講の 動機			この教室を 何で知 りました		※受付日□

令和8年度 神河有機農業教室 カリキュラム(予定表)

(内容の変更あり)

回数	開催日	曜日	時 間	講 義	
				内 容	講 師
1	4月3日	金	(午前) 講義	開 講 式 有機農業の思想と技術 保田ぼかしの特徴と作り方	保田 先生 西村 先生
			(午後) 実習	保田ぼかしづくり、実習圃場の区割り	
2	5月8日	金	(午前) 講義	土づくりの理論と方法 保田ぼかしの使い方と果菜類の定植	
			(午後) 実習	ピーマンとナスの定植	
3	6月5日	金	(午前) 講義	堆肥の効用と利用 果菜類の管理方法と豆類などの作り方	
			(午後) 実習	圃場の葎敷き、果菜類の管理	
4	7月3日	金	(午前) 講義	保田ぼかしの効用と利用 果菜類の整枝剪定、ニンジンの作り方	
			(午後) 実習	果菜類の整枝剪定、ニンジンの播種(実演)	
5	7月31日	金	(午前) 講義	野草(敷草)の効用と利用 秋野菜の播種方法と農薬の功罪	
			(午後) 実習	保田ぼかしづくり、果菜類の収穫など	
6	9月4日	金	(午前) 講義	土と野菜と人間のつながり 大根やタマネギの栽培方法	
			(午後) 実習	大根の播種	
7	10月2日	金	(午前) 講義	化学肥料と農薬の諸問題 春取り野菜の作り方	
			(午後) 実習	大根の間引きなど	
8	11月6日	金	(午前) 講義	野菜の文化史ータネを守ろう 緑肥の有効利用	
			(午後) 実習	大根の管理	
9	12月4日	金	(午前) 講義	食生活の変化と日本農業の未来 野菜の貯蔵方法	
			(午後) 実習	大根の収穫と調理	
10	9年1月8日	金	(午前) 講義	有機農業の時代 兵庫県環境創造型農業の推進 意見交換会・修了式	
			(午後) 実習	圃場の整備(次年度に向けて)	

※講義・実習の時間:10:00~15:30頃まで (天候の具合で午前・午後の入替えあり)

講師	保田 茂 先生	神戸大学名誉教授 NPO法人兵庫農漁村社会研究所理事長
	西村 いつき 先生	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科客員准教授 NPO法人兵庫農漁村社会研究所理事